

連携プラグイン for 勘定奉行クラウド

仕訳伝票データ連携

ユーザーズマニュアル

はじめに

本資料は導入済みの連携プラグイン for 勘定奉行クラウドのご利用にあたり、その操作/設定方法を説明するものです。

本製品は、kintone アプリに読み込むプラグインとなっております。
プラグインを kintone に読み込み、作成したアプリに追加して、ご利用ください。

プラグインのセットアップについては、kintone の以下のマニュアルをご確認の上、導入ください。

プラグインの追加

https://jp.cybozu.help/k/ja/admin/add_plugin/plugin.html

セットアップ後、作成したアプリにプラグインを追加してご利用ください。

アプリにプラグインを追加

https://jp.cybozu.help/k/ja/user/app_settings/plugin.html

本製品では、プラグイン設定に奉行クラウドの接続情報を設定することで、奉行クラウドへデータの参照/登録が可能となります。

■ 目次

はじめに	ii
第1章 プラグイン(データ登録)	1
1.1 プラグインの設定	1
1.2 データの登録	5
第2章 プラグイン(データ参照)	8
2.1 プラグインの設定	8
2.2 データの参照	11
第3章 ご利用上の制限事項	12
3.1 kintone proxy のタイムアウトの制限	12
3.2 勘定奉行クラウドの項目の登録・参照規則	13
第4章 勘定奉行クラウド API 利用情報の確認	14
4.1 tenantid (法人接続情報)の確認	14
4.2 API トークンの確認	15
第5章 利用期限の通知	17
5.1 利用期限 2 週間前	17
5.2 利用期限切れ	17
第6章 付録	18
6.1 参照したデータを再利用してデータ登録を行いたい場合	18
6.2 仕訳伝票データの規則	21
6.3 仕訳伝票データの規則 (補足)	27

第1章 プラグイン(データ登録)

1.1 プラグインの設定

連携先の勘定奉行クラウドの tenantid (法人接続情報)と API トークンを入力してください。

接続先環境として、本番環境または体験版環境を指定できます。用途に応じて、選択ください。「保存」ボタンを押すと設定が保存されます。(設定はアプリの更新を行わないと適用されませんので、ご注意ください。)

tenantid (法人接続情報)と API トークンの発行方法については、「第4章 勘定奉行クラウド API 利用情報の確認」をご参照ください。

カテゴリ：
プラグイン

連携プラグイン for 勘定奉行クラウド(仕訳伝票データ登録)



詳細

バージョン：1

奉行の設定

tenantid (法人接続情報)

APIトークン

接続先環境

本番環境 体験版環境

データ登録の設定

1件ずつ登録する 一括で登録する

項目のマッピング

> 【ヘッダー情報】

> 【明細情報】

> 摘要など

○ データ登録の設定

kintone から勘定奉行クラウドへデータを登録する方式を設定します。

- 『1件ずつ登録する』

kintone のレコードのデータを1件ずつ勘定奉行クラウドへ登録したい場合、『1件ずつ登録する』を選択してください。レコード追加画面でレコードを保存した後に、そのレコードのデータを勘定奉行クラウドへ連携し登録します。

- 『一括で登録する』

kintone のレコードのデータを一括で勘定奉行クラウドへ登録したい場合、『一括で登録する』を選択してください。レコード一覧画面に、「一括で登録する」ボタンが表示され、ボタン押すと kintone の複数のレコードのデータを一括で勘定奉行クラウドへ登録できます。

『一括で登録する』を選択した場合は、連携対象となる kintone のレコード判定のために、以下を設定してください。

- 『連携対象の kintone のフィールド名』

連携対象となるレコードを判定するための kintone のフィールド(「文字列(1行)」)を、このアプリの「フォーム」から追加し、「プラグインの設定」で指定してください。

- 『連携対象となる値』

連携対象となるレコードを判定する値を設定してください。

例) 未連携

設定しない場合(空の場合)は、『連携対象の kintone のフィールド名』に設定したフィールドの値が空のレコードが連携対象となります。

- 『連携後の値』

勘定奉行クラウドへデータ登録に成功した後の値を設定してください。

例) 連携済

『連携対象の kintone のフィールド名』に設定したフィールドの値を、設定した値で更新します。

(登録したデータを二重に登録しないために設定すると便利です。)

データ登録の設定

1件ずつ登録する 一括で登録する

連携対象kintoneフィールド名

連携対象となる値

連携後の値

「一括で登録する」ボタン

サンプル

1 - 6 (6件中)

レコード番号	登録フラグ	日付	伝票No.	伝票部門コード	
31	登録済	2020/10/30	000026	0000	 
30	登録済	2020/10/29	000025	0000	 
29	登録済	2020/10/28	000024	0000	 
28	未登録	2020/11/15	000012	0000	 
27	未登録	2020/11/11	000011	0000	 
26	未登録	2020/11/05	000010	0000	 

1 - 6 (6件中)

○ 項目のマッピング設定

連携先の勘定奉行クラウドの項目に対応する kintone のフィールドを選択してください。連携可能な kintone のフィールドの種類は、「文字列（1行）」「数値」「ラジオボタン」「ドロップダウン」「日付」です。

【明細情報】、摘要などの項目は、明細データを連携するためにサブテーブルのフィールドを選択してください。連携可能な kintone のサブテーブルは1つで、上記と同じ種類のフィールドが利用できます。

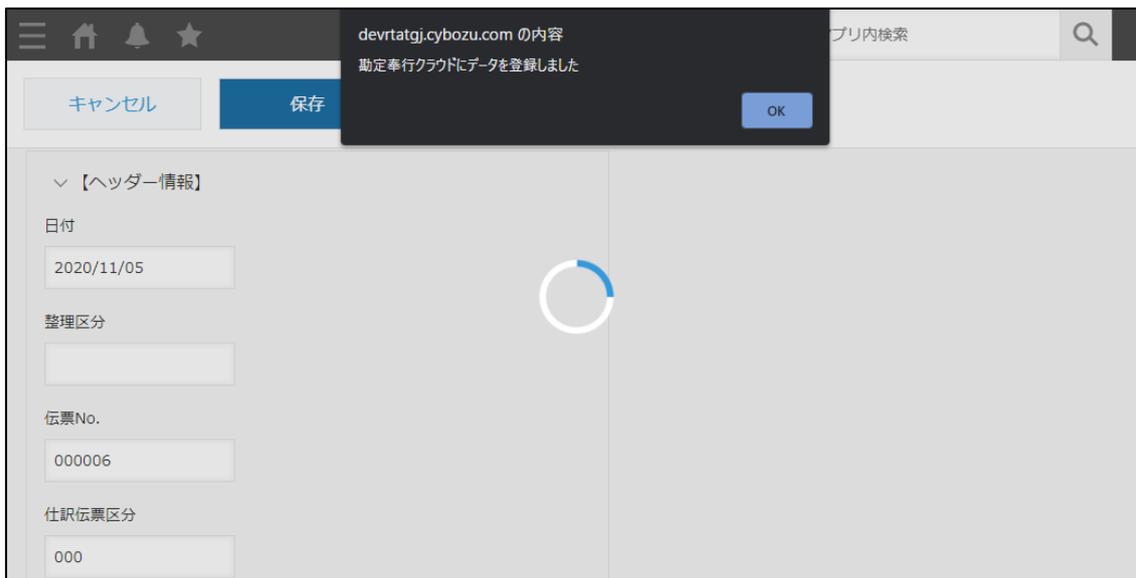
規定値を入力したい場合は、ドロップダウンから『規定値を入力』を選択し、テキストボックスに規定値となる値を入力してください。

項目にデータを連携したくない場合は、ドロップダウンから『入力なし』を選択してください。

項目のマッピング		
▼ 【ヘッダー情報】		
データ項目名	kintoneフィールド名(フィールドコード)	規定値入力
日付 :	日付(日付) ▼	<input type="text"/>
整理区分 :	整理区分(整理区分) ▼	<input type="text"/>
伝票No. :	伝票No.(伝票No) ▼	<input type="text"/>

1.2 データの登録

- データ登録の設定で『1件ずつ登録する』を設定した場合
データの登録は画面上部にある保存ボタンから登録できます。
登録が終了すると以下の様なダイアログが表示されます。ダイアログに「登録しました。」
のメッセージが表示されれば、勘定奉行クラウドとの連携は完了です。



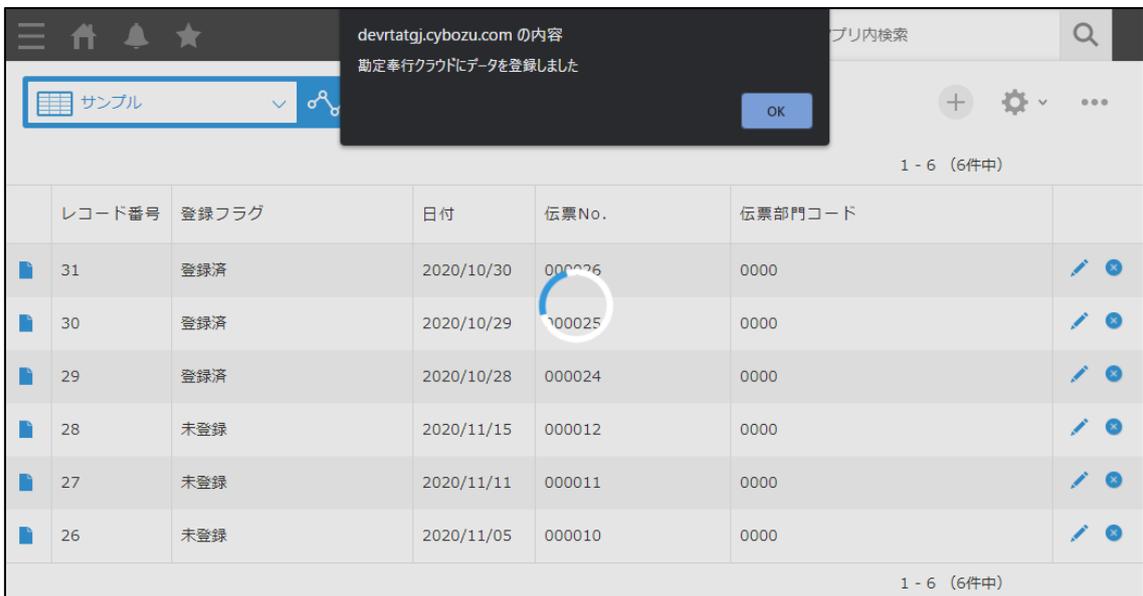
○ データ登録の設定で『一括で登録する』を設定した場合

データの登録はレコード一覧画面にある一括で登録するボタンから登録できます。登録が終了すると以下の様なダイアログが表示されます。ダイアログに「登録しました。」のメッセージが表示されれば、勘定奉行クラウドとの連携は完了です。



The screenshot shows the application interface with a table of records. A red box highlights the '一括で登録する' (Batch Register) button in the top navigation bar. The table contains the following data:

レコード番号	登録フラグ	日付	伝票No.	伝票部門コード
31	登録済	2020/10/30	000026	0000
30	登録済	2020/10/29	000025	0000
29	登録済	2020/10/28	000024	0000
28	未登録	2020/11/15	000012	0000
27	未登録	2020/11/11	000011	0000
26	未登録	2020/11/05	000010	0000



The screenshot shows the application interface with a dialog box overlaid on top. The dialog box contains the following text:

devrtatgj.cybozu.com の内容
勘定奉行クラウドにデータを登録しました

OK

The table below the dialog box is the same as in the previous screenshot:

レコード番号	登録フラグ	日付	伝票No.	伝票部門コード
31	登録済	2020/10/30	000026	0000
30	登録済	2020/10/29	000025	0000
29	登録済	2020/10/28	000024	0000
28	未登録	2020/11/15	000012	0000
27	未登録	2020/11/11	000011	0000
26	未登録	2020/11/05	000010	0000

ダイアログの OK ボタンを押すと連携したレコードの『連携対象の kintone のフィールド名』に設定したフィールドの値を『連携後の値』に設定した値で更新します。更新が完了すると以下のダイアログが表示され、OK ボタンを押すと表示中の画面を更新します。

devrtatgj.cybozu.com の内容
 連携対象となるフィールドの値の更新が完了しました。
 画面を更新して、再表示します。

アプリ内検索

サンプル

1 - 6 (6件中)

レコード番号	登録フラグ	日付	伝票No.	伝票部門コード	
31	登録済	2020/10/30	000026	0000	 
30	登録済	2020/10/29	000025	0000	 
29	登録済	2020/10/28	000024	0000	 
28	未登録	2020/11/15	000012	0000	 
27	未登録	2020/11/11	000011	0000	 
26	未登録	2020/11/05	000010	0000	 

1 - 6 (6件中)

アプリ内検索

サンプル

1 - 6 (6件中)

レコード番号	登録フラグ	日付	伝票No.	伝票部門コード	
31	登録済	2020/10/30	000026	0000	 
30	登録済	2020/10/29	000025	0000	 
29	登録済	2020/10/28	000024	0000	 
28	登録済	2020/11/15	000012	0000	 
27	登録済	2020/11/11	000011	0000	 
26	登録済	2020/11/05	000010	0000	 

1 - 6 (6件中)

第2章 プラグイン(データ参照)

2.1 プラグインの設定

連携先の勘定奉行クラウドの tenantid (法人接続情報)と API トークンを入力してください。

接続先環境として、本番環境または体験版環境を指定できます。用途に応じて、選択ください。「保存」ボタンを押すと設定が保存されます。(設定はアプリの更新を行わないと適用されませんので、ご注意ください。)

tenantid (法人接続情報)と API トークンの発行方法については、「第4章 勘定奉行クラウド API 利用情報の確認」をご参照ください。

カテゴリ:
プラグイン

連携プラグイン for 勘定奉行クラウド(仕訳伝票データ参照)



詳細
バージョン: 1

奉行の設定

tenantid (法人接続情報)

APIトークン

接続先環境

本番環境 体験版環境

検索項目の設定

検索対象項目

集計期間

伝票No.

項目のマッピング

> 【ヘッダー情報】

> 【明細情報】

> 摘要など

> 履歴情報

○ 検索項目の設定

連携先の勘定奉行クラウドから受注伝票データを参照するときにご利用する検索項目を選択してください。検索項目として以下が設定でき、チェックボックスにチェックを入れることで利用することが可能です。

検索項目の設定

検索対象項目

集計期間

伝票No.

チェックを入れた検索項目は、レコード一覧画面の検索枠に表示されます。
(範囲検索は、開始と終了の両方を入力して検索してください。片方のみで検索すると、その項目は無視して検索します。)

サンプル ▼ 🔗 ▼ 🔍 📊

+ ⚙️ ⋮

1 - 6 (6件中)

集計期間 伝票No.

2021-05-28 ~ 2021-05-28 ~ データ取得

レコード番号	伝票No.	日付	伝票部門コード	
683	000004	2020/11/15	0000	
682	000005	2020/11/11	0000	
681	000006	2020/11/05	0000	
680	000002	2020/11/04	0000	

○ 項目のマッピング設定

連携先の勘定奉行クラウドから参照したデータを入れる kintone のフィールドを選択してください。連携可能な kintone のフィールドの種類は、「文字列（1行）」「数値」「ラジオボタン」「ドロップダウン」です。

【明細情報】、摘要などの項目は、明細データを連携するためにサブテーブルのフィールドを選択してください。連携可能な kintone のサブテーブルは1つで、上記と同じ種類のフィールドが利用できます。

「ラジオボタン」「ドロップダウン」を利用する場合は、予め取得できる値を設定してください。

参照しない項目には、『連携しない』を選択してください。

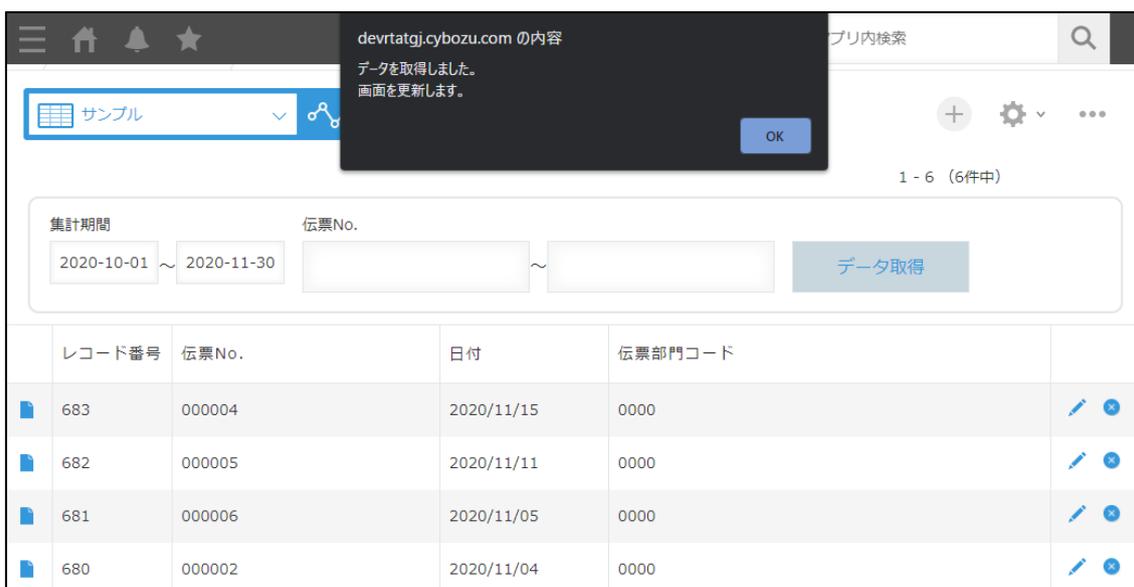
項目のマッピング	
▼ 【ヘッダー情報】	
データ項目名	kintoneフィールド名(フィールドコード)
日付 :	日付(日付) ▼
整理区分 :	整理区分(整理区分) ▼
伝票No. :	伝票No.(伝票No) ▼

2.2 データの参照

データの参照は、レコード一覧画面で行います。

検索枠の項目に検索条件を入力し、データ取得ボタンを押すと連携先の勘定奉行クラウドから、データを参照することができます。(参照は、kintone アプリの参照時点の全てのレコードを削除し、奉行クラウドから取得したデータでレコードを登録し直す動作となります。)

データの参照が完了すると以下の様なダイアログが表示されます。OK ボタンを押すとレコード一覧画面を更新して、参照したデータを表示できます。



The screenshot shows a mobile application interface. At the top, there is a navigation bar with a hamburger menu, home, notifications, and star icons. A search bar contains the text 'サンプル'. A dark dialog box is overlaid on the screen, displaying the text: 'devrtatgj.cybozu.com の内容', 'データを取得しました。', and '画面を更新します。', with an 'OK' button. Below the dialog, there is a search filter section with '集計期間' (2020-10-01 ~ 2020-11-30) and '伝票No.' fields, and a 'データ取得' button. The main content is a table with 4 columns: 'レコード番号', '伝票No.', '日付', and '伝票部門コード'. The table contains 4 rows of data. Each row has a blue document icon on the left and edit/delete icons on the right.

レコード番号	伝票No.	日付	伝票部門コード
683	000004	2020/11/15	0000
682	000005	2020/11/11	0000
681	000006	2020/11/05	0000
680	000002	2020/11/04	0000

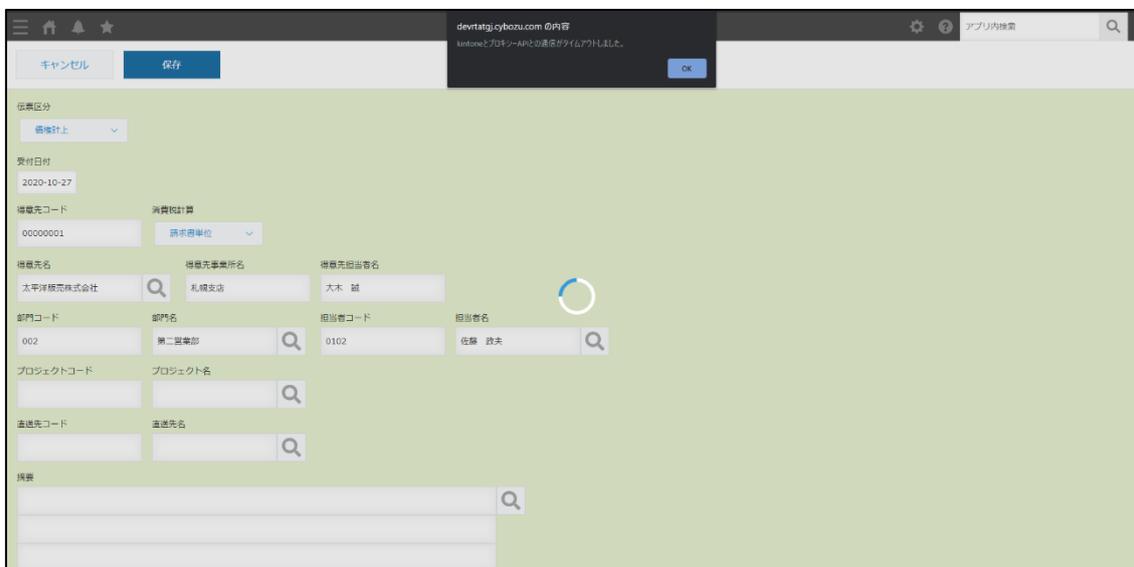
第3章 ご利用上の制限事項

3.1 kintone proxy のタイムアウトの制限

勘定奉行クラウドとのデータ連携では、kintone proxy を利用しています。
kintone proxy は、一定の時間レスポンスが無い場合、タイムアウトとなってしまう場合がございます。

マスター参照時に発生した場合、テキストボックスに入力する検索文字をさらに絞り込みが可能な文字に変更し、再度、検索をお試しください。

データ登録時に発生した場合、勘定奉行クラウドへログインし、該当するデータが登録されているか確認をお願いします。



The screenshot shows a web application interface with a search form. The form includes the following fields and controls:

- Buttons: キャンセル (Cancel), 保存 (Save), OK
- Form Fields:
 - 伝票区分 (Invoice Type): 振替計上 (Bank Transfer)
 - 受付日付 (Receipt Date): 2020-10-27
 - 得意先コード (Customer Code): 00000001
 - 消費税計算 (Consumption Tax Calculation): 請求書単位 (Invoice Unit)
 - 得意先名 (Customer Name): 太平洋産花株式会社 (Taipaiyasan Kaisha, Ltd.)
 - 得意先事業所名 (Customer Branch Name): 札幌支店 (Sapporo Branch)
 - 得意先担当名 (Customer Representative Name): 大木 誠 (Ohki Makoto)
 - 部門コード (Department Code): 002
 - 部門名 (Department Name): 第二営業部 (Second Sales Dept.)
 - 担当者コード (Staff Code): 0102
 - 担当者名 (Staff Name): 佐藤 誠夫 (Sato Makoto)
 - プロジェクトコード (Project Code)
 - プロジェクト名 (Project Name)
 - 送先コード (Destination Code)
 - 送先名 (Destination Name)
 - 検索 (Search)

3.2 勘定奉行クラウドの項目の登録・参照規則

データ登録・参照時は、勘定奉行クラウドの項目毎のデータ規則に従って行ってください。各項目の詳細については「6.2 仕訳伝票データの規則」をご参照ください。

第4章 勘定奉行クラウド API 利用情報の確認

4.1 tenantid (法人接続情報)の確認

勘定奉行クラウドにログインし、右上メニューにあるセキュリティの管理ポータルを選択してください。管理ポータルの画面が表示されますので、左メニューにある運用環境情報の法人管理を選択してください。法人情報にある法人接続情報をご利用ください。

- ① 勘定奉行クラウドの右上メニューの「セキュリティ」アイコンを選択し、「管理ポータル」を選択します。



- ② 管理ポータルのメニューの「運用環境情報」を選択、「法人管理」を選択し、法人情報画面で法人接続情報を確認できます。



4.2 API トークンの確認

勘定奉行クラウドにログインし、右上メニューにあるセキュリティの管理ポータルを選択してください。管理ポータルの画面が表示されますので、左メニューにある外部サービス連携の連携アプリケーションを選択してください。連携アプリケーション一覧の画面からアクセストークンを発行してご利用ください。

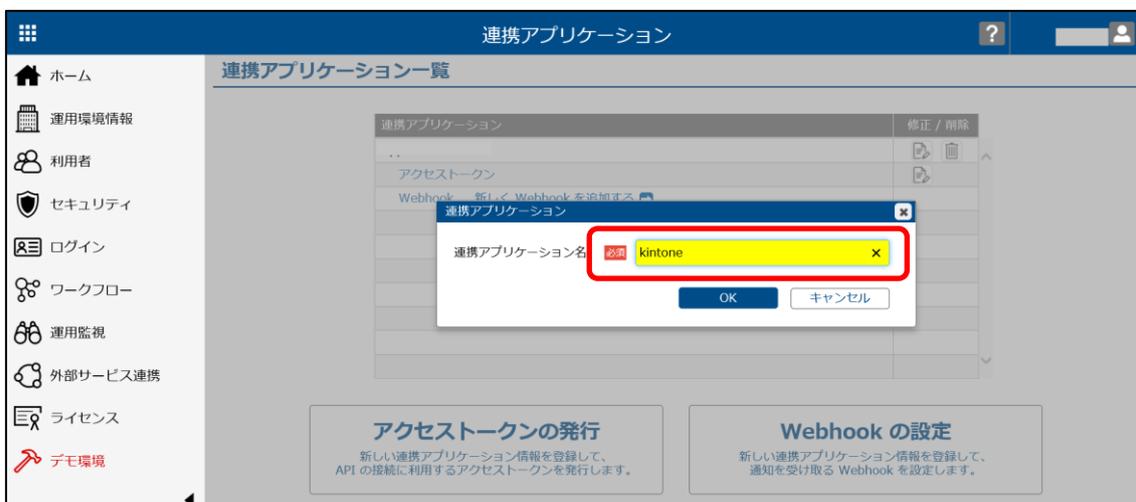
- ① 勘定奉行クラウドの右上メニューの「セキュリティ」アイコンを選択し、「管理ポータル」を選択します。



- ② 管理ポータルのメニューの「外部サービス連携」を選択、「連携アプリケーション」を選択し、連携アプリケーション一覧画面で「アクセストークンの発行」を押します。



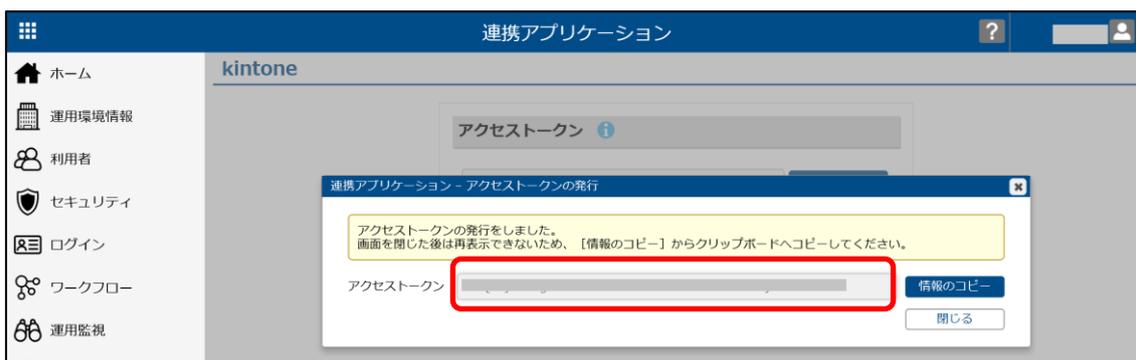
- ③ 連携アプリケーション名に「kintone」と入力し、「OK」を押します。
(連携アプリケーション名は、「kintone」以外でも問題ありません。)



- ④ アクセストークンの「発行」を押します。



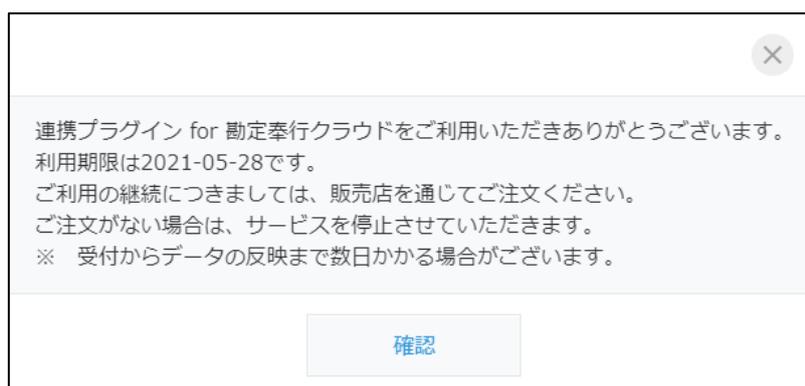
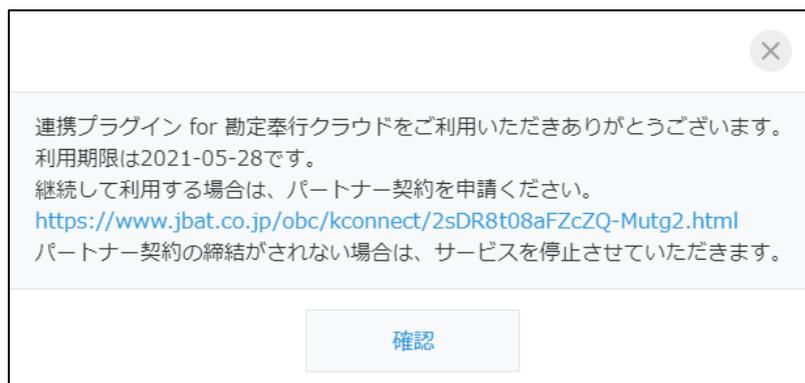
- ⑤ 発行されたアクセストークンを確認できます。



第 5 章 利用期限の通知

5.1 利用期限 2 週間前

利用期限 2 週間前になるとダイアログが表示されるようになります。利用の継続をお考えの場合は、ダイアログの案内に従い継続利用の手続きを行ってください。



5.2 利用期限切れ

利用期限切れになるとダイアログが表示されるようになり、連携プラグイン for 勘定奉行クラウドの機能をご利用できなくなります。再度のご利用をお考えの場合は、弊社窓口で利用申請を行ってください。



第6章 付録

6.1 参照したデータを再利用してデータ登録を行いたい場合

kintone のアクション機能を利用することで、参照プラグインで参照したデータを再利用して、登録プラグインを利用しているアプリから、勘定奉行クラウドにデータ登録を行うことができます。

- ① 参照プラグインを利用しているアプリのアプリ設定を開き、設定タブのその他の設定にあるアクションを選択します。

仕訳伝票データ連携アプリ_参照

変更を中止 アプリを更新

フォーム 一覧 グラフ 設定

一般設定	カスタマイズ/サービス連携	その他の設定
アイコンと説明	プラグイン	カテゴリ
デザインテーマ	JavaScript / CSSでカスタマイズ	言語ごとの名称
プロセス管理	APIトークン	レコードのタイトル
通知	Webhook	高度な設定
アプリの条件通知	アクセス権	アクション
レコードの条件通知	アプリ	運用管理
リマインダーの条件通知	レコード	アプリの動作テスト

- ② 作成ボタンを選択します。

作成

アクション [?ヘルプ](#)

レコードのデータを別のアプリや同じアプリに転記するボタン（アクション）を作成できます。
アクションの作成は、画面左上の[作成]ボタンから行います。

[便利に使うガイドブック vol.06 アクション編](#)

1 - 1 / 1件

	アクション名	コピー先のアプリ	最終更新者	最終更新日時	
📄	再利用	仕訳伝票データ連携アプリ_登録	Administrator	2021-04-25 18:04	🗑️

- ③ アクションの設定画面で、アクション名を入力し、コピー先として、登録プラグインを利用しているアプリを選択します。
- ④ コピー先のアプリを選択後、フィールドの関連付けで、参照アプリの再利用したいデータがあるフィールドと登録アプリのフィールドの関連付けを行います。
- ⑤ 関連付けが完了したら保存ボタンを押して、アプリを更新してください。

アクションの設定

* アクション名:

コピー元:  仕訳伝票データ連携アプリ_参照

* コピー先:

フィールドの関連付け: すべてクリア

<input type="text" value="日付"/>	→	<input type="text" value="日付"/>	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="x"/>
<input type="text" value="整理区分"/>	→	<input type="text" value="整理区分"/>	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="x"/>
<input type="text" value="伝票No."/>	→	<input type="text" value="伝票No."/>	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="x"/>
<input type="text" value="仕訳伝票区分"/>	→	<input type="text" value="仕訳伝票区分"/>	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="x"/>
<input type="text" value="証憑"/>	→	<input type="text" value="証憑"/>	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="x"/>
<input type="text" value="部門指定方法"/>	→	<input type="text" value="部門指定方法"/>	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="x"/>
<input type="text" value="伝票部門コード"/>	→	<input type="text" value="伝票部門コード"/>	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="x"/>
<input type="text" value="伝票入力形式"/>	→	<input type="text" value="伝票入力形式"/>	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="x"/>
<input type="text" value="インボイスNo."/>	→	<input type="text" value="インボイスNo."/>	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="x"/>

○アクションを利用する

アクション機能を設定すると参照アプリのレコード詳細画面にアクションボタンが表示されるようになります。再利用したいデータのレコード詳細画面で、そのボタンを押すと関連付けしたフィールドのデータを再利用した登録データに遷移することができます。

必要な情報を修正後、登録ボタンを押すと勘定奉行クラウドにデータを登録することができます。



The screenshot shows a record detail screen with a '再利用' (Reuse) button highlighted by a red box. Below the button is a form titled '【ヘッダー情報】' (Header Information) with the following fields:

日付	2020/11/05
整理区分	
伝票No.	000006
仕訳伝票区分	000
仕訳伝票区分名	通常伝票



The screenshot shows the same record detail screen after clicking the 'Reuse' button. The '再利用' button is no longer visible, and the '保存' (Save) button is now highlighted in blue. The form fields are the same as in the previous screenshot:

日付	2020/11/05
整理区分	
伝票No.	000006
仕訳伝票区分	000



6.2 仕訳伝票データの規則

項目名	データ	桁数	必要	説明
【ヘッダー情報】				
日付	文字	11		形式は、「6.3 仕訳伝票データの規則（補足）」の「日付の形式」参照
整理区分	数字	1		0：日常仕訳 1：整理仕訳 2：振戻仕訳 空白データを受け入れた場合は、「0：日常仕訳」が設定されます。
伝票 No.	英数カナ	6-15		データ上の No. を使用する設定の場合、空白データを受け入れた場合は、伝票番号なしに設定されます。
仕訳伝票区分	数字	3		空白データを受け入れた場合は、「通常伝票」が設定されます。
仕訳伝票区分名	文字			参照のみ。
証憑	文字	2083		この項目は、[経理業務設定]メニューの[基本]ページで、「証憑の画像をパス情報で関連付ける」にチェックが付いている場合に設定します。 【参考】1つの伝票に複数の証憑を関連付ける場合は、「6.3 仕訳伝票データの規則（補足）」の【伝票と証憑の関連付け】参照
部門指定方法	数字	1		0：伝票ごとに指定 1：勘定科目ごとに指定 明細行ごとの部門指定ではなく、1伝票内のすべての明細行で同じ部門を指定する場合は、 「0：伝票ごとに指定」に設定します。 空白データを受け入れた場合は、「勘定科目ごとに指定」が設定されます。
部門指定方法名	文字			参照のみ。
伝票部門コード	英数カナ	1^15		桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[マスター]ページ）によって異なります。 この項目は、項目「部門指定方法」が「0：伝票ごとに指定」の場合だけ、設定します。 空白データを受け入れた場合は、「その他部門」が設定されます。
伝票部門名	文字			参照のみ。
伝票入力形式	数字	1		0：通常入力 1：借方固定入力 2：貸方固定入力 空白データを受け入れた場合は、「0：通常入力」が設定されます。
伝票入力形式名	文字			参照のみ。
インボイス No.	英数字	20		※Global Edition の場合に有効
伝票摘要	文字	200		この項目は、伝票摘要の使用設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）が「する」の場合だけ、設定します。
【明細情報】				
行	数字	4		

借方情報				
部門コード	英数カナ	1-15	△	桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[マスター]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、「その他部門」が設定されます。 【必須になる条件】 「部門の未入力確認」が「1：する」の場合（[勘定科目]メニューの[取引入力]ページ）は、必須です。 空白データの場合は自動で「その他部門」が設定されず、受け入れできません。
部門名	文字			参照のみ。
勘定科目コード	英数	3-10	○	桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[マスター]ページ）によって異なります。
勘定科目名	文字			参照のみ。
補助科目コード	英数	1-10	△	桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[マスター]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、「その他補助科目」が設定されます。 【必須になる条件】 「補助科目の未入力確認」が「1：する」の場合（[勘定科目]メニューの[取引入力]ページ）は、必須です。 空白データの場合は自動で「その他補助科目」が設定されず、受け入れできません。
補助科目名	文字			参照のみ。
消費税区分コード	数字	4		空白データを受け入れた場合は、勘定科目か補助科目の初期値が設定されます。
消費税区分名	文字			参照のみ。
消費税率種別	数字	1		0：標準 1：軽減 空白データを受け入れた場合は、勘定科目または補助科目の初期値が設定されます。 詳細は、「6.3 仕訳伝票データの規則（補足）」の【消費税率と消費税率種別の設定】参照
消費税率種別名	文字			参照のみ。
消費税率	数字	4		詳細は、「6.3 仕訳伝票データの規則（補足）」の【消費税率と消費税率種別の設定】参照 空白データを受け入れた場合は、「消費税率種別」にしたがって新税率が設定されます。 整数2桁 小数1桁
事業区分コード	数字	4		空白データを受け入れた場合は、勘定科目か補助科目の初期値が設定されます。

				※原則課税、免税の場合は、必要ありません。
事業区分名	文字			参照のみ。
消費税自動計算	数字	1		0：計算しない 1：税抜金額からの計算する 2：税込金額からの計算する 空白データを受け入れた場合は、以下が設定されます。 「消費税額」が空欄またはスペース⇒0：計算しない 「消費税額」に数値が入力されている⇒1：税抜金額からの計算する 「税込金額からの計算」の場合だけ、受入時にシステム側で、消費税の自動計算をさせることができます。 【例】「6.3 仕訳伝票データの規則（補足）」の【消費税率と消費税率種別の設定】参照
消費税自動計算名	文字			参照のみ。
端数処理	数字	1		0：切り上げ 1：四捨五入 2：切り捨て 空白データを受け入れた場合は、勘定科目か補助科目の初期値が設定されます。
端数処理名	文字			参照のみ。
インボイス取引区分	数字	1		0：適格請求書発行事業者から購入 1：免税事業者等から購入 2：購入以外または施行日前の取引 空白データを受け入れた場合は、「消費税区分」と取引先の「インボイス登録区分」をもとに設定されます。 詳細は、「6.3 仕訳伝票データの規則（補足）」の【インボイス取引区分の設定】参照
仕入税額控除経過措置の控除割合	数字	2		「インボイス取引区分」が「1：免税事業者等から購入」の場合だけ、設定します。 通常はこの項目の設定は必要ありません。 80：控除割合 80% (2023年10月1日から2026年9月30日以前の購入) 50：控除割合 50% (2026年10月1日から2029年9月30日以前の購入) 0：経過措置の対象外 (2029年10月1日以降の購入) 空白データを受け入れた場合は、伝票日付をもとに設定されます。 詳細は、「6.3 仕訳伝票データの規則（補足）」の【仕入税額控除経過措置の控除割合の設定】参照
取引先コード	英数カナ	1-20	△	桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[マスター]ページ）によって異なります。 空白データを受け入れた場合は、「その他取引先」が設定されます。

				<p>【必須になる条件】</p> <p>「取引先の未入力確認」が「1：する」の場合（[勘定科目]メニューの[取引入力]ページ）は、必須です。</p> <p>空白データの場合は自動で「その他取引先」が設定されず、受け入れできません。</p>
取引先名	文字			参照のみ。
本体金額	数字	13	○	<p>マイナスも可</p> <p>※形式は、「6.3 仕訳伝票データの規則（補足）」の「金額の形式」参照</p> <p>※Global Edition の場合は、整数部分 1～13 桁 小数 0～2 桁</p>
消費税額	数字	13		<p>マイナスも可</p> <p>消費税計算を「2：税込金額からの計算する」にした場合は、この欄を空欄またはスペースを設定することで、受入時にシステム側で、消費税の自動計算をさせることができます。</p> <p>【例】「6.3 仕訳伝票データの規則（補足）」の【消費税の計算例】参照</p> <p>※消費税計算を「0：計算しない」にした場合は、消費税額をセットしていても、消費税は計上されません。</p> <p>※形式は、「6.3 仕訳伝票データの規則（補足）」の「金額の形式」参照</p> <p>※Global Edition の場合は、整数部分 1～13 桁 小数 0～2 桁</p>
本体金額（税抜）	数字	13		
消費税自動計算金額	数字	13		
通貨	大文字英字	3		※Global Edition の場合に有効
為替レート	数字	1-4		<p>整数部分 1～4 桁 小数 0～9 桁</p> <p>※小数部分の桁数は、「為替レートの小数桁数」（[運用設定]メニューで設定）の設定によって異なります。</p> <p>※Global Edition の場合に有効</p>
為替レートコード	英数	4		※Global Edition の場合に有効
取引通貨金額	数字	13		<p>整数部分 1～13 桁 小数 0～2 桁</p> <p>マイナスも可</p> <p>※形式は、「6.3 仕訳伝票データの規則（補足）」の「金額の形式」参照</p> <p>※Global Edition の場合に有効</p>
取引通貨消費税金額	数字	13		<p>整数部分 1～13 桁 小数 0～2 桁</p> <p>マイナスも可</p> <p>消費税計算を「2：税込金額から計算する」にした場合は、この欄を空欄またはスペースを設定することで、受入時にシステム側で、消費税の自動計算をさせることができます。</p>

				<p>す。</p> <p>【例】「6.3 仕訳伝票データの規則（補足）」の【消費税の計算例】参照</p> <p>※消費税計算を「0：計算しない」にした場合は、消費税額をセットしていても、消費税は計上されません。</p> <p>※形式は、「6.3 仕訳伝票データの規則（補足）」の「金額の形式」参照</p> <p>※Global Edition の場合に有効</p>
--	--	--	--	--

貸方情報				
部門コード	英数カナ	1-15	△	詳細については、借方情報と同様です。
部門名	文字			
勘定科目コード	英数	3-10	○	
勘定科目名	文字			
補助科目コード	英数	1-10	△	
補助科目名	文字			
消費税区分コード	数字	4		
消費税区分名	文字			
消費税率種別	数字	1		
消費税率種別名	文字			
消費税率	数字	4		
事業区分コード	数字	4		
事業区分名	文字			
消費税自動計算	数字	1		
消費税自動計算名	文字			
端数処理	数字	1		
端数処理名	文字			
インボイス取引区分	数字	1		
仕入税額控除経過措置の控除割合	数字	2		
取引先コード	英数カナ	1-20	△	
取引先名	文字			
本体金額	数字	13	○	
消費税額	数字	13		
本体金額（税抜）	数字	13		
消費税自動計算金額	数字	13		
通貨	大文字英字	3		
為替レート	数字	1-4		
為替レートコード	英数	4		
取引通貨金額	数字	13		
取引通貨消費税金額	数字	13		

摘要など			
摘要	文字	200	
借方摘要	文字	100	この項目は、「貸借別の摘要」を受け入れる場合に、使用します。具体的には、貸借別の摘要の使用設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[基本]ページ）が「する」の場合だけ、設定します。
貸方摘要	文字	100	
付箋色	数字	1	0：赤 1：青 2：黄 3：橙 4：緑 5：紫
付箋色名	文字		参照のみ。
付箋メモ	文字	400	
履歴情報			
新規登録日付	文字	19	
新規登録者名	文字	256	
新規登録区分	文字	-	メニュー名がセットされます。
修正登録日付	文字	19	
修正登録者名	文字	256	
修正登録区分	文字	-	メニュー名がセットされます。
最終登録日付	文字	19	
最終登録者名	文字	256	
最終登録区分	文字	-	メニュー名がセットされます。
承認日付	文字	19	
承認者名	文字	256	

6.3 仕訳伝票データの規則（補足）

日付の形式		
和暦の形式でも西暦の形式でも受け入れられます。		
和暦の場合	西暦の場合	
令和01年05月01日	平成31年04月01日	2019年04月01日
R01/05/01	H31/04/01	2019/04/01
R01.05.01	H31.04.01	2019.04.01
R01-05-01	H31-04-01	2019-04-01
※月日が1桁の場合は、1桁のままでも、「スペース」を付けて2桁にしても受け入れられます。 【例】「R01-05-01」は、「R1-5-1」または「R 1- 5- 1」でも受け入れ可能		
金額の形式		
○：受入可能		
	例	
3桁区切りなし	123456	
ダブルクォーテーション	"123,456"	
×：受入不可		
	例	
3桁区切りあり	123,456	
【条件によって値が反映されない項目】		
以下の項目は、条件によって、値を設定していても反映されません。		
項目名	条件	
事業区分コード	・ 計算方法（[消費税申告設定]メニューの[基本]ページで設定）が「原則課税」「免税」の場合 ・ 「消費税区分コード」が課税の対象外の場合	
消費税額	・ 「消費税区分コード」が課税の対象外の場合 ・ 消費税科目（仮払消費税・仮受消費税）の場合	
【消費税の計算例】		
○ 「税込金額からの計算」で、消費税額を自動計算する場合		
消費税自動計算	⇒ 2：税込金額からの計算する	
本体金額	⇒ 11,000円	
消費税額	⇒ 空欄またはスペース	
○ 「税込金額からの計算」で、消費税額を直接指定する場合		
消費税自動計算	⇒ 2：税込金額からの計算する	
本体金額	⇒ 11,000円	
消費税額	⇒ 1,000円	
○ 「税抜金額からの計算」で、消費税額を直接指定する場合		
消費税自動計算	⇒ 1：税抜金額からの計算する	
本体金額	⇒ 10,000円	
消費税額	⇒ 1,000円	
※ 「税抜金額からの計算」で、消費税額を自動計算することはできません。		

貸方			金額
部門 / 勘定科目 / 補助科目	取引先		
000	その他		
500	売上高	課売上	11,000
		卸 10%	(1,000)

貸方			金額
部門 / 勘定科目 / 補助科目	取引先		
000	その他		
500	売上高	課売上	11,000
		卸 10%	(1,000)

貸方			金額
部門 / 勘定科目 / 補助科目	取引先		
000	その他		
500	売上高	課売上	11,000
		卸 10%	(1,000)

【消費税率と消費税率種別の設定】

伝票日付が2019年10月1日以後の場合、汎用データ上の「消費税率」と「消費税率種別」の値によって、以下のように入力されます。

＜汎用データ上の値＞		＜勘定科目（補助科目）メニューの「消費税率種別」の設定＞	＜受入結果＞
消費税率	消費税率種別		
10	0（標準）	設定は考慮されません	10%の取引伝票
10	空白	設定は考慮されません	
空白	0（標準）	設定は考慮されません	
空白	空白	0（標準）	
8	1（軽減）	設定は考慮されません	軽減税率8%の取引伝票
8	空白	1（軽減）	
空白	1（軽減）	設定は考慮されません	
空白	空白	1（軽減）	
8、5	0（標準）	設定は考慮されません	経過措置8%、5%の取引伝票
8、5	空白	0（標準）	

※施行日（2019年10月1日）より前でも、[補助科目（勘定科目）]メニューで「消費税率種別」の設定を準備できます。

「消費税率種別」を「1：軽減」に設定していても、伝票日付が2019年10月1日より前の場合は「0：標準」となり、通常の取引として入力されます。

【伝票と証憑の関連付け】

1つの伝票に複数の証憑を関連付ける場合は、上から順番に証憑を入力していきます。

【例】

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	GL0010000	GL0010001	GL0010003	GL0010005	GL0010006	GL0010008	GL0012001	GL0012002
2	*/4/13	1	1	0	¥¥Server001¥領収書¥300405_001.pdf	0	100
3	/4/13	1	1	0	¥¥Server001¥領収書¥300405_002.pdf	0	721
4	/4/13	1	1	0	¥¥Server001¥領収書¥300405_003.pdf	0	722
5								

【インボイス取引区分の設定】

伝票日付が2023年10月1日以後の場合、「インボイス取引区分」を「1：免税事業者等から購入」にすることで免税事業者等から購入した取引と判断し、免税事業者等との取引用の消費税率区分に変換します。

【例】免税事業者等との取引用の消費税率区分への変換

「0010：課税売上分課税仕入」 ⇒ 「0310：課税売上分課税仕入（免税事業者等）」

～

「0022：共通売上分課税仕入の返還等」 ⇒ 「0322：共通売上分課税仕入の返還等（免税事業者等）」

【参考】免税事業者等との取引用の消費税率区分

「0310：課税売上分課税仕入（免税事業者等）」

「0311：非課税売上分課税仕入（免税事業者等）」

「0312：共通売上分課税仕入（免税事業者等）」

「0320：課税売上分課税仕入の返還等（免税事業者等）」

「0321：非課税売上分課税仕入の返還等（免税事業者等）」

「0322：共通売上分課税仕入の返還等（免税事業者等）」

○「インボイス取引区分」の設定が必要ない場合

以下の場合、「インボイス取引区分」の設定は必要ないため、今までの受入形式のまま変更はありません。

- ・ 自社が簡易課税で、消費税申告をする事業年度の場合（[税務申告設定]メニューの[消費税]ページで設定）
- ・ 自社が免税事業者で、消費税申告をしない事業年度の場合（[税務申告設定]メニューの[消費税]ページで設定）
- ・ 免税事業者等の取引先から購入はしない場合、つまり適格請求書発行事業者の取引先だけから購入する場合
- ・ 課税仕入れ以外の取引の場合

○「インボイス取引区分」を設定しない（空白）場合

以下の項目のいずれかに免税事業者等の設定があれば、免税事業者等から購入した取引として受け入れられます。

- ・ データ上の「消費税区分コード」にて、免税事業者等との取引用の消費税区分を設定
- ・ データ上の「消費税区分コード」を指定していない場合は、当システムでの消費税区分の設定にしたがって決定した「消費税区分」（詳細は、欄外の【空白の場合に設定される消費税区分】参照）で、免税事業者等との取引用の消費税区分を設定
- ・ 取引先の「インボイス登録区分」（[取引先]メニューで設定）で、「1：免税事業者等」を設定

【例】「消費税区分」と取引先の「インボイス登録区分」をもとに設定されます。

＜汎用データ上の値＞			＜受入結果＞
「消費税区分」	取引先の「インボイス登録区分」		消費税区分
課税仕入れ	0：適格請求書発行事業者	⇒	課税仕入れ
〃	1：免税事業者等	⇒	課税仕入れ（免税事業者等）
課税仕入れ（免税事業者等）	－（設定値に関わらず）	⇒	課税仕入れ（免税事業者等）
課税仕入れ以外	－（設定値に関わらず）	⇒	課税仕入れ以外

※伝票日付が施行日（2023年10月1日）より前の場合には、免税事業者等との取引用の消費税区分に変換されず、免税事業者等との取引用の消費税区分を設定している場合は未受入になります。

【仕入税額控除経過措置の控除割合の設定】

通常は、この項目の設定は必要ありません。

課税仕入れの返還/値引の取引で、かつ返還/値引元の課税仕入れの伝票日付が「経過措置の控除割合の切替り日」をまたぐ場合に設定します。

返還/値引元の伝票日付	施行日	「返還/値引」の伝票日付		設定する「インボイス取引区分」	設定する「仕入税額控除経過措置の控除割合」
～ 2023年9月30日	2023年10月1日	2023年10月1日～	⇒	2：購入以外の取引または施行前	－
～ 2026年9月30日	2026年10月1日	2026年10月1日～	⇒	1：免税事業者等から購入	80：控除割合 80%

○「仕入税額控除経過措置の控除割合」を設定しない（空白）場合
「伝票日付」をもとに設定されます。

<汎用データ上の値>		<受入結果>
「伝票日付」		自動設定される「仕入税額控除経過措置の控除割合」
～ 2023年9月30日	⇒	－（施行日前のため設定されません）
2023年10月1日～2026年9月30日	⇒	80：控除割合 80%
2026年10月1日～2029年9月30日	⇒	50：控除割合 50%
2029年10月1日～	⇒	0：経過措置の対象外

連携プラグイン for 勘定奉行クラウド 仕訳伝票データ連携 ユーザーズマニュアル

2023 年 06 月 02 日 第 6 版発行